

「震災から身を守るために」我が家と地域で取り組む減災行動を先日横浜市消防局からの講演より収録したものを一部掲載いたします。詳しくは“ドリームハイツの歩き方”(<http://dreamheights.jp/>) [県ハイツ防災隊]のページを開けてみてください。

減災へ向けて

地震時の措置 3原則の実施

- ① その場に合った身の安全
家の中で；落下物に注意！丈夫なテーブル下にもぐる等頭も守る。ドアなど出口の確保。あわてて外に飛び出ず正確な情報を入手しましょう。
- ② すばやく火の始末
大きな揺れのときはすぐその場から離れ揺れが収まってから消火をしましょう！出火を防止するためには電気・ガスが復旧したときに火災になる可能性があります。避難する際は電気のブレーカーを落としてガスの元栓も締めてから避難しましょう！
- ③ 隣近所の助け合い
お互いに協力して被害を最小限に食い止めることが大切です。特に障害や高齢などにより、体の不自由な人の身の安全を守るために地域で協力出来る体制を日頃からつくっておくことが大切です。自分の安全を確保した方は積極的に隣近所の人々の安否を確認しましょう！

★秋季防災訓練のお知らせ

10月24日(日) 10時より

訓練項目：安否確認、避難誘導、
炊き出し訓練
簡易トイレ組立訓練

地震による被害を減らしましょう

I マンションの耐震性は大丈夫でしょうか

II 家具の固定等

家具の室内での配置を考えましょう

1. 寝室には背の高い家具は置かない
2. ドア近くに本棚等、倒れやすい家具は
おかない

III ガラスの飛散防止

ガラスは震災時に飛散すると凶器にかかります。窓ガラスや、食器棚のガラスなどが割れてもガラスが飛散しないように飛散防止シートを貼りましょう。

IV 出火防止対策

- ① すばやく火の始末
- ② 消火器や消火用水(風呂の水など)の準備
- ③ 住宅用火災警報器の設置

V 高層住宅の災害対策

停電、断水、ガス供給停止、配水管の損傷等のライフラインのダメージの中でエレベーターの停止があります。(ハイツは震度4で停止)

エレベーター対策

- ① 揺れにより地震管制運転装置が作動
- ② 揺れて扉開閉センサーが作動
- ③ 揺れて故障

閉じ込め事故発生

日ごろの備えは？

- ① 上層階での食料・飲料水・トイレパックの備蓄(例えば5階層ごとに一定の備蓄をする)
- ② エレベーター内への飲料水・トイレパックの備蓄
- ③ 団地内での共助体制の確立

防災通信は防災ファイルへ綴じておいて下さい

防災用機材

ハイツには緊急時災害に役立つ機器として「簡易トイレ」が常備されています。
各号棟地下変電室(12・13・14号棟は1階物置)に2~4張り置いてあります。

(絵入組み立てマニュアル付属)

右図はプライベートテント品番 7617



左図はパーソナルテント品番 7613

下図はプライベートテント '14 品番 7614



* 大きな地震発生時、トイレ使用は汚水排水配管のひび割れ等の確認が
されるまで使用は禁止です。

10月24日に上記機材の組立訓練をします